

東京天台

平成二十七年
秋彼岸号

発行所
天台宗東京教区

杜多徳雄

〒107-0062 東京都港区南青山1-3-22
TEL.03-5785-3481

<http://www.tendaitokyo.jp/>



比叡山延暦寺

東塔 根本中堂

根本中堂の歴史

天台宗の開祖伝教大師最澄は、延暦七年に一人比叡山に入り、現在の東塔地域に二乗止観院というお堂を創建した。それが延暦寺の始まりであり、根本中堂はかつて二乗止観院があった場所に建てられて

いる。比叡山はその後、東塔、西塔、横川の三つの地域を中心として、広大な領域に最盛期で三千もの堂宇を数えるほどになり、日本仏教の中心となった。

現在のお堂は三代將軍家光公の時に完成したもので、総檜造りの荘厳なお堂である。また、完成した当時の姿をほぼそのまま残していることから、その貴重な価値が認められ国宝に指定されている。

根本中堂内部の造り

一般的なお堂では、仏様は見上げる高さにて祀られるが、ここでは仏様と、お参りする中陣の高さが同じである珍しい造りとなっている。經典に「一切衆生悉有仏性」すなわち「生きとし生けるものは、皆すべて仏の性質を有している」という教えがあるが、根本中堂の造りは仏様と参詣者の視線を同一にすることに、我々に仏性があるということを示しているのである。しかしながら、お参りする我々と仏様との間には「修行の谷」と言われる谷間が広がり、仏にたとり着くことは容易には出来ないことも物語っている。

不滅の法灯

根本中堂内陣の中心には、伝教大師自作の薬師如来が本尊として祀られている。そのご宝前には今からおよそ1200年前に大師自らが灯された「不滅の法灯」が輝いている。

大師はこの灯に、「仏法を未来永劫まで守っていく志」を込められ、天台宗を興された。その後、天台宗はもとより比叡山から多くの教え（臨済、曹洞、浄土、真宗、日蓮、時宗など）が生まれ、日本仏教の礎となっていたのである。

平成の大改修

根本中堂はこのたび「祖師先徳鑽仰大法会」の一環として、平成28年より約10年をかけて大改修を行うこととなっているが、後世まで永遠に「法の灯（教えのひかり）」を伝えよと願われた大師のお気持ちを守るため、この貴重なお堂を改修し後世に残していくことは、現在に生きる我々に課せられた使命であるだろう。



不滅の法灯

「現代社会と仏教」

「感謝の心」

ハッピーマンデー制度や祝日法の改正により、週末の休日と、国民の祝日である「敬老の日」や「秋分の日」が連続するシルバーウィークと呼ばれる大型連休が、6年ぶりに登場するというところで、旅行業界などが盛んに宣伝をしています。

祝日法によると、国民の祝日とは「(国民が)美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築きあげるために、ここに国民こぞで祝い、感謝し、又は記念する日」とあり、秋のお彼岸の中日である秋分の日「祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ」日であるとされています。また、春のお彼岸の中日である春分の日「自然をたたえ、生物をいつくしむ」日とされ、これはつまり、日本人にとつてのお彼岸とはすべての命に感謝する期間といっても良さそうです。

仏教用語としての「彼岸」は「かなたの岸、目指す理想の境地」という意味で、私たちの住む「此岸」と対になる言葉です。ちなみに此岸はサンスクリット語でサハーンといひ、世間の事を俗に「娑婆」とい

うのはここから来ています。また、般若心経の二節「波羅蜜多」は、サンスクリット語でパラミターといひ、「到彼岸」とも訳され、修行の完成といった意味があります。

このような意味をもつ仏教用語の「彼岸」が、日本では「太陽が真東から昇って真西に沈み、昼と夜の長さがほぼ同じになる」西方にある阿彌陀如来の極楽浄土(彼岸)と此岸が最も通じやすくなるこの期間に修行するのが良い」という考えや「古来より太陽の神を信仰してきた神道との結びつき(彼岸＝日願)と、種をまく春や収穫の秋に自然に祈り感謝する」という風習が、ご先祖様に感謝する気持ちにもつながって、「お彼岸」という他の仏教国にはみられない、日本独特の行事となったのです。

シルバーウィークに旅行もいいですが、普段より少しだけ「感謝」を考えると期間にしてみてもいいかがでしょうか。



仏教豆知識 ⑨ 「御朱印」

昨今、寺社に詣でた際に御朱印を受ける人が増えています。メディアにも頻繁に取り上げられ、「御朱印ガール」という言葉が生まれたり、静かなブームになってきています。

その由来は諸説ありますが、本来は寺院に「写経」を納め、その証としての印を受けることとされています。そのため御朱印のことを「納経」とも言います。徐々にその作法が略され、参拝の証として受けることができるようになり、次第に神社にも広まってきました。

御朱印は、古来から信仰されている全国の霊場や札所、七福神めぐりなどの巡礼と結びつき、現世での心願成就はもとよ

り、極楽往生を願い、臨終の際に棺に納められる方もいらつしやいます。

このような意味合いから、勿論お経を唱え、納めるに越したことはありませんが、単に御朱印だけを集めるのではなく、必ずご本尊様に参拝してから受けましょう。

また、特に小さな寺社に行かれる場合は、法要中や受けられない時間帯もあります。元々、御朱印を行っていない寺社もあります。事前に問い合わせることをお勧めします。



一隅大会 報告



六月二十五日、浅草公会堂において「第四十五回一隅を照らす運動東京大会」が千人を超える多くの檀信徒を集めて盛大に開催されました。

第一部では、声明と雅楽

六月二十五日、浅草公会堂において「第四十五回一隅を照らす運動東京大会」が千人を超える多くの檀信徒を集めて盛大に開催されました。

第一部では、声明と雅楽

特別に表彰し、一隅運動の更なる発展を参加者に呼びかけました。

第二部では、「神田川」や「妹」など数々のミリオンヒット曲を歌い、現在も活躍を続ける南こうせつ氏のコンサートを行いました。会場前には早朝より行列ができ、初めて入場整理券を配布して

てんぐい クロスワード

1	2			3
4			5	
	6			
7			8	9
		10		

タテのカギ、ヨコのカギにしたがいマスに言葉を入れてください。全てのマス埋めたら、3つの太枠マスの文字を並び替えて、ヒントをもとに言葉を作りましょう。

ヒント 秋の彼岸

タテのカギ

1. ○○より団子
2. 明治時代に使われていた街灯は?
3. お城を守るために周囲に張り巡らせたものは
5. イチョウの実
7. 「○○の細道」
9. フィッシング!

ヨコのカギ

1. 官製○○○
4. 秋○○は嫁に食わずな
5. ○○と人情
6. 東京都の住民
7. 一本足打法と言えは○○貞治
8. 署名・○○印
10. 世界一長い城壁「○○○の長城」

対応致しました。コンサートが始まるとテレビやラジオで慣れ親しんだユーモアあふれるお話と、優しい歌声に会場では声援が飛び交い、万雷の拍手が何度も響き渡る素晴らしい一隅大会となりました。

一隅運動表彰者 (12名)

- | | | | | | | | | | |
|--------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 龍眼寺 | 徳正寺 | 安養寺 | 眞覺寺 | 大圓寺 | 來迎院 | 永安寺 | 圓乗寺 | 寛永寺 | 清水寺 |
| 荻野太郎吉様 | 勝山さと子様 | 西光寺 | 大善院 | 安養寺 | 眞覺寺 | 大圓寺 | 來迎院 | 永安寺 | 圓乗寺 |
| | | 武田 | 山崎 | 佐藤 | 金子 | 小山 | 酒井 | 石井 | 美濃部 |
| | | 光明様 | 周司様 | 義昭様 | 智賢様 | 英夫様 | 昌二様 | 君枝様 | 源吾様 |

御礼並びにお詫び

皆様からの善意の募金、105万5884円を天台宗地球救援事務局に寄託いたしました。ご報告と御礼を申し上げます。

また参加者多数の為、入場をお断りした檀信徒の皆様には、ここに謹んでお詫び申し上げます。

一隅運動東京本部長
杜多徳雄

※答えは4頁下部に

天台の寺めぐり ④ 谷中周辺

了侘寺



了侘寺 境内

当寺は寛永元(1624)年、徳川家康異父弟松平康元の長男忠良の側室であった日安尼が草創。明暦二(1656)年日安尼示寂の折、子の忠節はその草庵を一寺として母の法名に因んで随龍山了侘寺と号した。後に忠節も当寺へ葬られ、義兄金田氏と共に兩

家代々の当主と家臣の菩提寺となった。

日蓮宗不受不施派に属し、感応寺九ヶ院の中で唯一寺号を有する特別な寺であったが、元禄十一(1698)年不受不施法乱の翌年天台宗に改宗され、現在の本尊阿彌陀如来を勧請。その後明和九(1772)年の大火で堂宇は消失。

近年は関東大震災の際に避難者を多数収容したり、終戦直後にレコードコンサートを開くなど地域に貢献しつつ寺門を興隆、平成八年に本堂大改修及び庫裏客殿新築。前天台座主猥下により落慶法要が執り行われ、寺観を一新した。

総持院

天正十八(1590)年、徳川家康江戸入府の際、大久保忠世が大山不動尊(神奈川恵)と同木同作とされる守護神の不動尊を神田寺町に安置したのが草創の縁で、慶長十六(1



総持院 不動尊

611)年、忠世の子忠隣が境内地四百坪を賜り、栄松法印を開山として創建。慶安元(1648)年に現在地に移転した。

忠隣の孫忠朝は家康の正室築山と長子信康の生害を憐れみ、元禄十一(1698)年の百二十回御忌辰に位牌を奉納、現在も当寺に祀られている。

明治になって谷中不動尊と称された尊像は信仰を集め、境内に居住していた彫刻家高村光雲の娘さくも父親の息災を祈り不動尊に願をかけた。

当寺は関東大震災、戦災共に難を免れ、昭和三十四年に不動堂・庫裡の一部改築。平成二十七年に本堂改修及び庫裏を新築し、寺観を一新した。

駒込学園 大保福寺

当寺は文禄年間(1592)6、宗俊円明禪師が禪宗保福寺として湯島に開山。後に大保福寺の勅号を受け、天台宗に改宗した。

明暦元(1655)年に焼失、万治三(1660)年に現在の駒込学園所在地に移転。十一面観世音菩薩を本尊とし、隆盛を誇ったが、享保年間(1716)36に焼失。以後境内は縮小した。

明治三十七年、勸学講院(了翁禪師開校)を前身とする天台宗大学と天台宗中学が当寺に移転。大正十四年、天台宗中学が旧制駒込中学校として開校した。昭和二十年の空襲で木造校舍や本堂は焼失したが、校舍は再建されて駒込中学校・高等学校となり本年創立九十周年を迎え

た。十一面観世音菩薩像は空襲の難を逃れ、現在は校舍内の止観堂で慈悲深く生徒たちの成長を見守っている。



大保福寺 十一面観世音菩薩像



クロスワードの答え:おはぎ